令和３年度施策評価シート　（評価対象年度　令和２年度）

●基本情報

施策名	【１】計画的な土地利用	評価番号	1-1-1
基本計画	基本方針	【１】安全で人にやさしい快適なまちづくり	
	基本施策	【１】快適な住環境の整備	
担当課（係）	まち未来創造課　（　都市整備係　）	（　　）	
担当課（係）	（　　）	（　　）	

●施策の方向　～ＰＬＡＮ～

施策の方向	○都市計画マスタープラン等と整合性を図りながら，総合的・計画的に土地利用を推進します。 ○魅力ある市街地の形成と，優良農地の適正かつ合理的な土地利用を目指します。

●令和２年度主な取組　～ＤＯ①～

主な取組	①適切な誘導と規制					
取組内容	大地震時に災害発生のおそれが大きい大規模盛土造成地について，「造成宅地防災区域の指定」又は「災害防止のために必要な措置の勧告」を行うにあたり必要となる，大規模盛土造成地の変動予測調査を行いました。 都市計画法第６条に定める，「都市計画に関する基礎調査」を実施しました。 利根町都市計画マスタープランに位置づけられた将来都市構造の実現に向けて，太平地区計画案の策定作業を進めており，計画の骨子となる土地利用基本構想案を検討しました。（令和２年度，３年度の継続事業）。 建築確認申請の照合事務及び開発行為に関する相談・指導等を行い，秩序ある街づくりが進められました。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	都市計画事務	現状維持	4		
	2	建築・開発事務	現状維持	5		
	3			6		

主な取組	②計画的な市街地の形成					
取組内容	都市計画法第６条に定める，「都市計画に関する基礎調査」を実施しました。 利根町都市計画マスタープランに位置づけられた将来都市構造の実現に向けて，太平地区計画案の策定作業を進めており，計画の骨子となる土地利用基本構想案を検討しました。（令和２年度，３年度の継続事業）。 建築確認申請の照合事務及び開発行為に関する相談・指導等を行い，秩序ある街づくりが進められました。 東日本大震災の被災者が金融機関等からの借入金を利用して自己居住用住宅の補修・建設等を行った際の借入金の利子の一部を補給することで被災者の負担軽減を図りました。 利根町都市計画マスタープランに位置づけられた将来都市構造の実現に向けて，太平地区計画の策定について審議を行いました。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	都市計画事務	現状維持	4	都市計画審議会	現状維持
	2	建築・開発事務	現状維持	5		
	3	被災住宅復興支援事業	廃止(終了)	6		

●事業費　～ＤＯ②～

	主な歳出の節		平成３０年度（実績）	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）
支出	内訳	1　報酬	109,200　円	円	31,300　円
		10　需用費	221,179　円	174,071　円	77,415　円
		12　委託料	4,671,000　円	2,338,200　円	11,595,241　円
			円	円	円
			円	円	円
		その他	円	円	円
	事業費　計		5,001,379　円	2,512,271　円	11,703,956　円

	主な歳入の科目		平成３０年度（実績）	令和元年度（実績）	令和２年度（実績）
財源	内訳	国支出金	円	円	1,826,000　円
		県支出金	193,367　円	127,175　円	1,547,333　円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	4,808,012　円	2,385,096　円	8,330,623　円
	事業費　計		5,001,379　円	2,512,271　円	11,703,956　円

●評価　～ＣＨＥＣＫ～

進捗状況	○順調 ◉概ね順調 ○やや遅れている ○遅れている	現状分析	都市計画基礎調査を実施し，町の都市計画上の現状を把握することができました。 大規模盛土変動予測調査を実施することで，災害からの安全確保を行うための情報を収集できました。 地区計画土地利用基本構想案の策定を進めることで，将来的な土地利用の方向性を検討できました。

●改善　～ＡＣＴＩＯＮ～

今後の方向性	社会情勢に応じた都市計画の見直し等を図ることで，地域の特性を生かした土地利用を推進します。